

感染に対抗する生体のしくみ

山崎 晶

大阪大学微生物病研究所/IFReC

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-1

電話：06-6879-8306

【要 旨】

感染症の克服は全世界における普遍的な課題である。感染症を引き起こす病原体は特有の分子パターンを有し、宿主の受容体に認識されることで免疫応答が惹起される。我々は、レクチン受容体群が、病原体糖脂質を認識して免疫賦活を促す「脂質認識受容体ファミリー」であることを示してきた。一方、様々な細菌や真菌が、免疫賦活作用を持つ脂質を分解する機構を獲得し、宿主免疫系を回避することで病原性を発揮していることも見出し、「免疫賦活脂質の分解系の獲得」が、病原体に共通の宿主免疫からの回避戦略である可能性を提唱した。本シンポジウムでは、我々が近年見出した実例と、「病原体の免疫回避機構を阻害することで、宿主免疫に対する感受性を付与する」という新たな概念に基づく感染症治療の可能性について議論したい。